

かすかべ未来研究所

Kasukabe Future Life Laboratory

かすかべの未来を研究するってどういうこと？ 問い合わせ／政策課(内線2119)

かすかべ未来研究所ってなに？

本市の未来を創造する政策づくりのために、調査研究を行い、課題の解決に役立つ提言・支援を行う組織です。

なぜ必要なの？

地方自治体を取り巻く環境が大きくかつ急激に変化していく中で、市民ニーズを的確に把握し、住民の福祉を増進するためには、さまざまな課題に取り組む必要があります。そこで、平成23年度に庁内シンクタンクとして「かすかべ未来研究所」を設置しました。

政策形成アドバイザー
まき せ 牧瀬 穂さん



政策づくりには「What」(何をするか)を明確にすることが大切です。Whatの背景にある「Why」(なぜするのか)を把握しなくてはなりません。さらにWhatを実現するために「How」(どうするのか)も考えなくてはなりません。自治体シンクタンクは、What・Why・Howを検討し一定の結論を出す組織になります。その意味で同組織の存在意義は高いです。現在全国に40程度しかなく、春日部市は先進的です。その「かすかべ未来研究所」に期待しています。

【シンクタンク】

社会問題などを、調査・分析し、将来予測や問題解決のために政策提言などを行う研究機関です。



市民にどんな関係があるの？

本研究soでは、市民とともに発展していくシンクタンクを目指しています。そこで、「かすかべ未来研究所モニター」を導入し、市民の皆さんの意見などを聴きながら調査研究を効果的に進めています。

また、行政サービスを行う各課の政策を実現につなげることも本研究所の大きな役割です。研究報告で提案された内容が事業化されることで、市民生活を安全で豊かにすることにつながっていくものと考えています。

シティセールス広報課の設置

「自治体の広報戦略についての調査研究」と題し、本市の情報発信を戦略的に行うための調査研究を行いました。この研究報告を受けて、平成25年度の機構改革でシティセールス広報課が設置されました。



職員参集メールシステム

「大災害が発生した場合の職員の対応」と題して行った研究報告などがきっかけの一つとなり「職員参集メールシステム」が構築されました。情報の共有化と職員の迅速かつ的確な行動が、市民の生命や財産を守ることに繋がります。



各種計画の基礎資料として活用

「春日部市健康づくり計画(第2次)・食育推進計画」や、現在策定中の「春日部市公共施設マネジメント基本計画」などを効果的に推進していくための基礎資料となるよう「春日部市にふさわしい食育の研究」「公共施設の適正配置についての調査研究」などの研究に取り組みしました。

平成26年度「調査研究事業」成果発表会

平成26年度は「春日部市の地域別人口動態およびその特性」「人と組織を育てる市役所を目指して」の2テーマで調査研究を行い、5/14に教育センターで「調査研究事業」成果発表会を行いました。

各研究チームの熱い発表に、市職員や視察に訪れた他自治体職員など70人を超える職員は熱心に耳を傾けていました。また、発表終了後は「組織の活性化のために自分には何ができるか」と題し、グループワークを行い、自分たちの職場環境を良くすることで市民サービスを向上させようと活発な意見交換が行われ、会場は熱気で包まれました。



大学生政策提案コンテスト

学生が持つ知識や情報、柔軟な発想を市政に生かしていく取り組みとして、平成26年度から「大学生政策提案コンテスト」を実施しています。

平成26年度に最優秀賞を受賞した「パパ大好きと言われ隊」が提案した「春日部市をイクメンのまちに」は、事業の実施に向けて検討を進めています。



「パパ大好きと言われ隊」

全国から注目されています

平成23年度からの4年間で、全国の自治体や議会など31団体が視察に訪れています。

視察の受け入れは、他自治体などの現状や取り組み事例を聴く機会にもなります。また、資料の作成や説明する能力の向上にもつながっています。今後も、視察の受け入れを積極的に行なっていきます。



▲視察受け入れの様子

第3回都市調査研究グランプリで優秀賞を受賞

研究所の前身となった特別行政課題研究で、平成22年度に「定住人口の増加策について」調査研究を行い、公益財団法人日本都市センター主催の第3回都市調査研究グランプリで「自治体実施調査研究部門 優秀賞」に選ばれました(応募数：21団体26件)。また、この調査研究から以下の3つが事業化されました。



ふれあい家族住宅購入奨励事業

「三世代がつながるまち」を目指し、市内に住んでいる親世帯の近くに居住するために、初めて住宅を取得する子世帯に対し、住宅の登記費用の2分の1の額(上限20万円)を市内共通商品券で交付しています。



官学連携団地活性化推進事業

武里団地の活性化を図るため、市と包括的連携協定を結んでいる大学の学生が団地に入居し、さまざまな地域貢献活動を展開しています。昨年、団地で行われた夏祭りでは、子ども御膳作りなどにチャレンジするなど、地域に元気を吹き込んでいます。



ウェルカムガイド作成事業

市の概要を分かりやすく紹介し、まちの良さや魅力を伝え広げることで、市外の人からも行ってみたい、住んでみたいと思われる「選ばれるまち」となることを目指して作成した冊子です。



新病院の名称を募集します 問い合わせ／経営管理課(内線7264)

市では、医療連携体制を支える地域の中核病院として、また、質の高いがん治療を行うがん診療拠点病院として、これまで以上に外来・入院や手術・検査など、高次で専門的な治療を行えるよう、新病院の建設を進めており、開院に向けてふさわしい名称を募集します。

なお、名称は現在の「春日部市立病院」の継続を含めて「春日部」と「病院」、または「医療センター」の組み合わせを基本としますが、他にふ

さわしい名称があればこの組み合わせ以外でも構いません。

組み合わせの例…春日部〇〇病院
春日部〇〇医療センター

募集期間…7/11(土)～8/10(月)

応募方法…応募用紙、はがき、または市WEBに新病院の名称、理由、氏名、住所を記入し、〒344-8588 中央七丁目2番地1 春日部市立病院経営管理課へ



新市立病院 外観イメージ

※応募用紙・応募箱は市役所本庁舎、庄和総合支所、春日部市立病院、各公民館に設置
※新病院の詳細は市WEB、および市立病院WEBで

「かすかべっこ予防接種ナビ」をご利用ください

健康課(内線7514)

受たい予防接種を入力すると、自動で予防接種のスケジュールを作成し、接種時期が近づくとメールでお知らせします。他にも市内の予防接種実施医療機関の検索、感染症流行情報や子育て情報などの確認ができます。ぜひ、利用してください。

利用対象者…市内に住民登録のある未成年者(登録は自由)

利用方法…①QRコードを読み取る、またはWEB

(http://kasukabe.city-hc.jp/)へアクセスする
②子どものニックネーム、生年月日などを登録
③接種したい予防接種(定期・任意接種を含む)や既に接種した予防接種を入力すると、自動で予防接種スケジュールを作成します(実際の接種は医療機関に予約をしてスケジュール調整を行い、医師と相談の上、受けてください)。
登録料は無料ですが、通信費、パケット代は利用者の自己負担となります。



▲上のQRコードからアクセスできます

